

2020年11月18日
株式会社パスコ

(報道資料)

パスコと米スカイライン・ソフトウェア・システムズ社が 戦略的パートナーシップ提携に向けた覚書を締結 ーデジタルツインを実現する世界レベルの3次元空間情報ソリューションの提供へー

株式会社パスコ(本社:東京都目黒区、代表取締役社長:島村秀樹、以下:パスコ)は、3次元ビジュアライゼーションソフトウェア大手の Skyline Software Systems, Inc. (スカイライン・ソフトウェア・システムズ、本社:米国ヴァージニア州ハーンドン、CEO:ボブ・ピーターズ、以下:スカイライン社)と3次元空間情報の革新的ソリューションの共同開発およびサービス提供を目的とした協業の本格的な検討と戦略的パートナーシップ提携に向けた覚書を締結いたしました。

パスコは、スカイライン社の製品の日本におけるボリュームユーザーとして同社と良好な関係を築いてまいりましたが、今回の覚書の締結により両社の関係を一層発展させ、同社の日本市場におけるビジネスパートナーとなりました。パスコは、幅広い業界を牽引するスカイライン社の3次元の基幹ソフトシリーズ(TerraExplorer™、PhotoMesh™、その他製品)と、パスコの空間情報分野における高い専門性とのシナジーによって、スマートシティ(※1)やスーパーシティ(※2)に有益なデジタルツインを推進し、BIM・CIM、地上・地下のインフラ管理、防災・減災、災害対応など様々な分野に向け、革新的な3次元空間情報サービスを共同で開発して提供してまいります。

※1 スマートシティとは、都市の各分野において先進技術の導入・実証を目指すものです。

※2 スーパーシティとは、各分野を横断するデータ連携基盤を軸にして、「まるごと未来都市」をつくることを目指し、技術者や企業の目線ではなく、住民目線でより良い未来を実現しようとするものです。

■パスコ 代表取締役社長:島村秀樹からのコメント:

3次元空間情報に関する優れたソフトウェアおよび技術を保有しているスカイライン社との業務提携は、スマートシティに向けた実証においても、国が積極的に展開しているスーパーシティ構想を実現するためにおいても、大変有益であると考えています。今後、弊社はスカイライン社とともに革新的な3次元空間情報サービスを提供してまいります。

■スカイライン社 CEO:ボブ・ピーターズからのコメント:

パスコの革新的なマインドとアクションへの確固たるコミットメントと、当社との長年の関係により、今回このような形で戦略的パートナーシップと将来的な共同ビジネスのための道を拓くことができたことを嬉しく思います。未来志向のパートナーとして、今後両社がともに大きく発展していくことを大いに期待しています。

■株式会社パスコについて

1953年に航空測量事業者として創業したパスコは、航空機のほか、人工衛星やヘリコプター、ドローン、専用車両、船舶などに多彩なセンサーを搭載して、社会の事象を正確に捉える測量・計測技術をもとに、収集した情報に加工・処理・解析を加え、国土の管理・保全、災害・環境対策、インフラの老朽化対策などの社会の課題を解決する空間情報サービスを提供しています。

<東証1部上場 連結売上高:541億円 連結従業員数:2,677名(2020年3月期)>

詳しくは、パスコのウェブサイト(<https://www.pasco.co.jp/>)をご覧ください。

■Skyline Software Systems, Inc.(スカイライン社)について

スカイライン社は3次元ビジュアライゼーションソフトウェアのリーディングカンパニーであり、インタラクティブでリアルな3次元環境の創造と普及のための様々なアプリケーション、ツール、サービスからなる包括的プラットフォームを提供しています。スカイライン社は40年以上にわたって最先端のGISビジュアライゼーションツールをクライアントに提案してきた実績を持ち、約50名のチームは米国本社(ヴァージニア州ハーンドン)、イスラエル、イギリス、ドイツ、オーストラリアの各拠点で、公共・民間両セクターのクライアントをサポートしています。

詳しくは、スカイライン社のウェブサイト(<https://www.skylinesoft.com/>)をご覧ください。

■本件に関するお問い合わせ

株式会社パスコ

153-0043 東京都目黒区東山1-1-2 東山ビル

経営戦略本部 橘・岡本・吉原

TEL: 03-6412-2500